
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第22号（2017. 8. 14）

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室

多面的機能支払のメールマガジン第22号をお届けします。

今回の活動組織紹介は、地域資源を守り、次世代に引き継ぐための取組に力を入れている組織をご紹介します。

事務局からは、「第8回多面的機能支払交付金第三者委員会」と「こども霞が関見学デー」の開催報告をします。また、全国事例研究会参加者の二次募集を行いますので、お知らせします。

==== 第22号の目次 =====

1. 活動組織の活動紹介

☆細越地域水土里保全隊（青森県青森市）☆

☆グリーンはしなか（奈良県桜井市）☆

2. 第8回多面的機能支払交付金第三者委員会の開催報告

3. 「こども霞が関見学デー」の開催報告

4. 全国事例研究会の参加者募集！（二次募集）

（編集後記）

=====

■ 1. 活動組織の活動紹介 ■

☆細越（ほそごえ）地域水土里保全隊（青森県青森市）☆

本組織は、青森市郊外の自然豊かな農村地域に位置し、地域にはゲンジボタルとヘイケボタルが混在して生息する貴重な里山が存在します。

本組織では、この貴重な里山を保全しながらホタルの生息環境を守り続けるため、「細越ホタルの里の会」や地域の小学校とも連携しながら、平成19年度から交付金を活用して、ホタルの生息場所となっている水路の草刈りや補修、観察会や飼育活動などに地域ぐるみで取り組んできました。

こうした活動により本地域では多くのホタルが飛び交い、毎年7月に開催している「細越ホタルまつり」には、3日間で4,000人の見学者が訪問するなど、たくさんの人々の目を楽しませています。

地域の自然や生態系などの資源を将来にわたり守っていくためには、地域自らが行動していく必要があると考え、本組織では次世代を担う子供たちによる自然観察や環境教育などを積極的に行っています。今年の4月には、ホタルまつりに向けて地元の小学生や園児ら約60人が、ゲンジボタルの幼虫約150匹を放流しました。これらの活動が認められ、昨年、「細越ホタルの里の会」は、水環境保全活動「こどもホタレンジャー2016」で、38団体の応募の中から、最高賞の環境大臣賞を受賞しました。

今後も「細越ホタルの里の会」や地域の小学校などと連携しながら地域ぐるみの活動の続け、貴重な地域資源を子供たちに引き継いでいきたいと考えています。

【細越地域水土里保全隊 佐藤鐵雄】

☆グリーンはしなか（奈良県桜井市）☆

本組織は、三輪山の麓の纏向（まきむく）古墳群の一つであるホケノ山古墳が存在する歴史豊かな地域に位置しています。

古墳だけでなく、日本最古の道と言われる「山の辺の道」もあり、ハイカーもたくさん通ることから、地域の景観保全や遊休農地の発生抑制に特に力を入れています。遊休農地では、草刈り・耕起によって耕作ができる状態にした後、かんびょう等イノシシの食害が少ない作物を作付けするなど、再び遊休農地に戻らないように工夫を凝らしています。

また、地域内にある三輪山を源流とする川は、田畑を潤す大切な水源であるとともに、かつては炊事や洗濯、水遊びをした身近な存在でした。

こうした“川と馴染んだ暮らし”を次世代に伝えるため、毎年子供たちと生きもの調査を行っており、今年で11回目を迎えます。

今後は、川を中心としたマップづくりなど、地域の資源を広く発信する取組を行っていきます。

【桜井市農林課 亀甲信治】

■ 2. 第8回多面的機能支払交付金第三者委員会の開催報告 ■

農林水産省は7月25日（火）、「第8回多面的機能支払交付金第三者委員会」（座長：中嶋康博 東京大学大学院農学生命科学研究科教授）を開催しました。

今回は、平成26年度の制度創設から3年間の取組状況や効果の評価結果を基に取りまとめた中間評価案を諮り、ご意見をうかがいました。

委員からは、「現場での取組状況についての情報発信のあり方」、「農村地域の活性化の評価の仕方」等についてのご意見がありました。

中間評価については、第三者委員会でのご意見を踏まえ資料の修正を行い、8月末をめどに公表することとしています。

◎ 第三者委員会資料はこちらから（農林水産省 HP）

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/n_sansya/index.html

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■ 3. 「こども霞が関見学デー」の開催報告 ■

農林水産省では、8月2日（水）、3日（木）の二日間にわたり、「こども霞が関見学デー」を開催しました。2日間での来場者数は過去最高の7,222名となり、今年も大盛況のうちに終わりました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

多面的機能支払推進室では、兵庫県と連携し、「君もため池マンに変身してメダカのコタローと農村の生きものを守ろう！」というプログラムを設け、兵庫県で活躍するNPO法人「メダカのコタロー劇団」によるアニメ紙芝居やため池・疎水検定クイズ等を実施しました。アニメ紙芝居は各回満員となり、多くの子供たちがため池マンに変身しました。アニメ紙芝居やクイズ、カメとの触れ合いなどを通して、子供たちに農村の自然環境を守ることの大切さを学んでもらえたことと思います。

イベントの詳細は、以下のサイトをご覧ください。

◎ 平成29年度「こども霞が関見学デー」の参加者について（文部科学省 HP）

http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kengaku/

◎ 農村振興局 facebook

<https://www.facebook.com/nouson.maff/videos/1872723909646698/>

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■ 4. 全国事例研究会の参加者募集！（二次募集） ■

前号で最終案内をした多面的機能支払交付金事例研究会（平成29年10月11日（水）、12日（木）開催）は、お陰様で沢山の方から参加希望を頂きました。

まだ、以下のプログラムでは、席数に若干の余裕がございますので、二次募集を行います。参加をご希望される場合は、以下の参加申込方法でお問合せください。

活動組織の皆様や自治体、推進組織等のご担当者様の参加をお待ちしております。

▽二次募集プログラム▽

◎ 事例発表

10月11日（水）13:30～18:15

◎ テーマ別意見交換（テーマ1（活動の体制強化）又はテーマ3（活動を通じた地域農業の振興））

10月12日（木）9:15～11:35

▽参加申込方法▽

各都道府県の多面的機能支払担当、もしくは、本メールマガジンのアドレスへお問合せください。

▽二次募集締切▽

8月21日（月）までにお申込ください。
参加申込の締切後、参加者を決定し、8月下旬までに参加者の決定をお知らせします。

▽事例研究会の詳細▽

農林水産省のホームページをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/jirei_kenkyu_kai/H29.html

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■編集後記■

来週から研修で山形県に滞在し、農作業の実習を行うこととなりました。2週間にわたって農作業をするのは初めてですが、少しでも役に立てるよう暑さに負けず頑張りたいと思います！今回お世話になる農家さんは、環境保全にも取り組まれているそうなので、取組の工夫や具体的な効果、取組を行う上での問題点などを、実際に自分の目で見て勉強出来ればと思います。

山形県を訪れるのは初めてなので、今は山形県の郷土料理を調べています。いろいろ美味しいものがある目移りしていますが、実習の合間に郷土料理を楽しみたいと思います。

◇平成29年度多面的機能支払交付金のあらましは、こちらからご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は、以下のサイトから手続きをお願いいたします。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

なお、手続きには、パスワードが必要です。お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇バックナンバー◇

過去に配信したメールマガジンの閲覧はこちらから

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hoz/en/index.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております。

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：横田）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
